

 大腸がん

連携パス手帳

(フォローアップ)



大阪医科大学附属病院

大阪府がん診療連携協議会

もくじ

はじめに	【 p.3 】
退院後の日常生活	【 p.4 】
食生活に注意して	【 p.4 】
注意したほうがよいお腹の症状について	【 p.5 】
退院後もこれだけは忘れずに	【 p.6 】
あなたが手術を受けた日	【 p.7 】
大腸がん術後連携パス	【p.9 ~ p.27 】
再診予約変更	
大阪医科大学附属病院の部署のご案内	【p.28 ~ p.29 】



はじめに

【連携パス】とは、地域のかかりつけ医と大阪医科大学附属病院の医師が、あなたの治療経過を共有できる「治療計画表」のことです。「連携パス」を活用し、かかりつけ医と大阪医科大学附属病院の医師が協力して、あなたの治療を行います。

この「連携パス」を活用することで、大阪医科大学附属病院と地域のかかりつけ医とが協力し、患者さんの視点に立った安心で質の高い医療を提供する体制を構築することを目指しています。また、患者さんにとっても長い待ち時間や通院時間の短縮などの負担軽減や、ご自身の治療計画や経過の把握、かかりつけ医の手厚い診療による不安の解消といったメリットにもつながります。

【かかりつけ医があなたのもうひとりの主治医です】

病状が落ち着いているときの投薬や**日常の診療や定期的な検査はかかりつけ医が行い、専門的な治療は大阪医科大学附属病院が行います**ので、ちょっとしたケガや日常の相談は、まずかかりつけ医にご相談ください。必要に応じて大阪医科大学附属病院を受診していただきます。また、緊急を要する場で休日や夜間等かかりつけ医を受診できない場合は、大阪医科大学附属病院（072-683-1221 代表）までご連絡ください。その際には必ず「大腸がん術後地域連携パス」を利用しているとお伝えください。

なお、原疾患（大腸がん）と関連がないと考えられる症状については、他の医療機関への受診をお願いすることになりますのでご了承ください。



氏名 _____

ID番号 _____

退院後の日常生活？

手術後におこりやすい症状について

大腸を切り取ったために栄養吸収や食事摂取量の低下、それらに伴う体重減少などのトラブルはほとんどありません。しかし、多くの場合術後 1～2 ヶ月でやや軟便の状態となることが多いですが、ときに便秘気味になる場合があります。

一方、直腸を切除した場合には、便をためる能力と便を押し出す能力が低下するため、排便の回数が増加したり、1 回の便量が減少したり、残便感などの排便機能障害をきたします。

また、小腸や大腸の癒着（ゆちゃく）により、内容物の通過不良が生じ、腹部の膨満を感じたり、あるいはひどくなると腸閉塞（ちょうへいそく）となる場合があります。

これらの症状は、多くの場合食事療法や下剤や消化薬でコントロールすることができ、術後一定の期間がすぎると生じにくくなります。



食生活に注意して

原則的には、食事の種類に制限はありません。つまり、何を食べてもかまいませんが、食物繊維が多く含まれているものや消化しにくいものは、腸閉塞の原因となることがありますので、術後3ヶ月は控えたほうがよいでしょう。

最も基本的なことは、おいしく、ゆっくり、楽しく、食べることです。規則正しく、バランスの良い食事を心がけましょう。

術後の症状により個人差がありますので、栄養士の指導を参考にしてください。

飲酒について

お酒の好きな方も飲みすぎには注意しましょう。「休肝日」を設けるなど、体をいたわりながら上手にお酒とつきあいましょう。

嗜好品について

カフェインの強いコーヒー、紅茶、緑茶などの飲み物は飲みすぎに注意しましょう。

喫煙について

今後の健康のためにも禁煙をすすめます。

入浴について

特に問題はありません。熱いお湯は疲労しやすいため、長湯にならないようにしましょう。

注意した方がよいおなかの症状について

腸の働きについて

1) 小腸は食べ物の吸収をしており、大腸は小腸で消化吸収された食物残渣から水分を吸収して便を作ります。

2) 排便は食後 24～72 時間で行われます。

腸の手術をした後は、腸が短くなっているため腸の中に残渣物がとどまる時間が短くなり、下痢に傾いたり便秘に傾いたりして排便の調節がくずれやすくなっています。

毎日快便に排便できるよう、以下のことを参考にしてください。

いい状態の便は、黄色から茶色で形がしっかりあり、硬すぎないものです。便の色が濃い、血が混ざったように赤くなっている便の場合は、腸内で出血を起こしている恐れがありますので、早めに受診するようにしましょう。

《排泄について》

便通を整えるようにしましょう。便が出る・出ないにかかわらず、毎日トイレに行く習慣をつけてください。

■便秘

水分を多くとるようにし、生活のリズムを整え、適度な運動を行い、規則正しい食事と排便の習慣をつけましょう。食事・生活習慣に注意しても便秘が続く場合、下剤が必要となりますので、医師に相談しましょう。

■下痢

消化の良い食品をとり、水分を制限せずに、むしろ補いましょう。少量ずつの食事を、回数を増やすことで、消化管の負担を軽くしましょう。

頻便の場合は、生活のリズムを整え、食事時間を規則正しくしましょう。過労は禁物です。

■腹部膨満感

1 回の食事量を控えるように心がけましょう。それでも治らなければ、一度、食事をやめましょう。

食事をやめても腹部膨満が続き、排ガスのない場合は腸閉塞が疑われます。医師にすぐに相談しましょう。

社会復帰に向けて

日常生活にもどられてからは、疲れやすいので、徐々に生活のリズムを以前の状態に近づけるようにしましょう。体を休めるためにも睡眠を十分に取らしましょう。

社会復帰が可能となる時期は、年齢や体力、社会的状況、仕事内容、手術術式などにより異なりますので、個々の状況に応じて対応すべきです。ひとつの目安としては、退院後の仕事内容が主にデスクワークであれば術後 1 ヶ月程度で、腹筋をよく使う運動や仕事であれば術後 2～3 ヶ月くらいを目処に社会復帰が可能と考えます。

医師と相談されたうえで、仕事を始めてください。

退院後もこれだけは忘れずに！

☆定期的な診察や検査に行きましょう

術後5年を目処に、定期的な診察や検査を行います。

診察や検査の間隔は、手術後の状態によって異なりますから、医師の指示通り、決められた日に診察や検査を受けるようにしてください。なお、定期検査は大腸がんを対象としているものです。他の病気をカバーするものではありません。

☆指示された薬は忘れずに服用しましょう

病院で処方された薬は、消化薬や化学療法剤で、手術後の状態を安定させるためや手術の治療効果を高めるために必要なものです。

薬を服用するように医師から指示された場合には、指示された通りに忘れずに正しく服用しましょう。

☆悩んでいるのはあなただけではありません

あなたが安心して治療や検査を続けていくためには、家族とともに医師や看護師とのコミュニケーションをよくし、一緒にこの病気と闘っていく気持ちが大切です。

まだまだ不安や悩みがあると思いますが、あなたと同じ経験をされた患者さんはたくさんいらっしゃいます。

そして、その多くの方が、病気を克服し、充実した人生を送っていることを忘れないでください。決して自分のからに閉じこもってしまわないように、明るく、希望を持って前進し、病気をしてかえって良かったと思われるような建設的な生活を送ってください。



あなたが手術を受けた日

平成 年 月 日

術式

◎腹腔鏡下・開腹

- 結腸部分切除術
- 回盲部切除術
- 右結腸切除術
- 右半結腸切除術
- 横行結腸切除術
- 左結腸切除術
- 左半結腸切除術
- S状結腸切除術
- 前方切除術
- 低位前方切除術
- 超低位前方切除術
- 超低位直腸切除術

(ISR・Prolapsing法)

- 直腸切断術
- その他

※退院にあたって、薬剤師から服薬指導を行います。

大腸がん術後連携パス(1～6ヶ月)

			大阪医大	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			2週	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月
			月 日	毎月受診		月 日
(術後)						
診察	問診	食欲	○	○	○	○
		腹部症状				
		排便				
	体重					
	視触診	腹部理学所見				
		一般的内科的診察				
直腸指診(直腸癌)						
採血	血算・生化学					○
	CEA・CA19-9					○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査					
	腹部超音波あるいはCT検査					
	大腸内視鏡検査					
投薬	一般薬		△	△	△	△
自己 検診	腹部の チェック	体重	Kg	Kg	Kg	Kg
		腹部の症状はないか				
		便通の異常はないか				

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

○：必須項目 △：必要時に行います

かかりつけ医	かかりつけ医	大阪医大
4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月
毎月受診		月 日
○	○	○
		○
		○
		○
		○
		○
		●
△	△	△
Kg	Kg	Kg

～メモ～

大腸がん術後連携パス(7ヶ月～1年)

			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月
			毎月受診		月 日
(術後)					
診察	問診	食欲	○	○	○
		腹部症状			
		排便			
	体重				
	視触診	腹部理学所見			
一般的内科的診察					
直腸指診(直腸癌)					
採血	血算・生化学				○
	CEA・CA19-9				○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査				
	腹部超音波あるいはCT検査				
	大腸内視鏡検査				
投薬	一般薬		△	△	△
自己 検診	腹部の チェック	体重	Kg	Kg	Kg
		腹部の症状はないか			
		便通の異常はないか			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

○：必須項目 △：必要時に行います

かかりつけ医	かかりつけ医	大阪医大
10ヶ月	11ヶ月	1年
毎月受診		月 日
○	○	○
		○
		○
		○
		○
		○ (CTが望ましい)
		○ (CTが望ましい)
△	△	△
Kg	Kg	Kg

～メモ～
 1年目の大阪医大受診前には、
 かかりつけ医で検査を済ませ、
 診療情報提供書をもって来て
 下さい

大腸がん術後連携パス(1年1~1年6ヶ月)

			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			1年1ヶ月	1年2ヶ月	1年3ヶ月
			適宜受診		
診察	問診	食欲	○	○	○
		腹部症状			
		排便			
	体重				
	視触診	腹部理学所見			
一般的内科的診察					
直腸指診(直腸癌)					
採血	血算・生化学		△	△	○
	CEA・CA19-9				○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査				
	腹部超音波あるいはCT検査				
	大腸内視鏡検査				
投薬	一般薬		△	△	△
自己 検診	腹部の チェック	体重	Kg	Kg	Kg
		腹部の症状はないか			
		便通の異常はないか			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

○：必須項目 △：必要時に行います

かかりつけ医	かかりつけ医	大阪医大 or かかりつけ医
1年4ヶ月	1年5ヶ月	1年6ヶ月
適宜受診		月 日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
△	△	○
		○
△	△	△
Kg	Kg	Kg

～メモ～

大腸がん術後連携パス(1年7ヶ月～2年)

			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			1年7ヶ月	1年8ヶ月	1年9ヶ月
			適宜受診		
(術後)					
診察	問診	食欲	○	○	○
		腹部症状			
		排便			
	体重				
	視触診	腹部理学所見			
一般的内科的診察					
直腸指診(直腸癌)					
採血	血算・生化学		△	△	○
	CEA・CA19-9				○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査				
	腹部超音波あるいはCT検査				
	大腸内視鏡検査				
投薬	一般薬		△	△	△
自己 検診	腹部の チェック	体重	Kg	Kg	Kg
		腹部の症状はないか			
		便通の異常はないか			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

○：必須項目 △：必要時に行います

かかりつけ医	かかりつけ医	大阪医大
1年10ヶ月	1年11ヶ月	2年
適宜受診		月 日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		○ (CTが望ましい)
		○ (CTが望ましい)
		△
△	△	△
Kg	Kg	Kg

～メモ～

□2年目の大阪医大受診前には、
かかりつけ医で検査を済ませ、
診療情報提供書をもって来て
下さい

大腸がん術後連携パス(2年1～2年6ヶ月)

			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			2年1ヶ月	2年2ヶ月	2年3ヶ月
			適宜受診		
(術後)					
診察	問診	食欲	○	○	○
		腹部症状			
		排便			
	体重				
	視触診	腹部理学所見			
一般的内科的診察					
直腸指診(直腸癌)					
採血	血算・生化学		△	△	○
	CEA・CA19-9				△
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査				
	腹部超音波あるいはCT検査				
	大腸内視鏡検査				
投薬	一般薬		△	△	△
自己 検診	腹部の チェック	体重	Kg	Kg	Kg
		腹部の症状はないか			
		便通の異常はないか			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

○：必須項目 △：必要時に行います

かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
2年4ヶ月	2年5ヶ月	2年6ヶ月
適宜受診		
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		○
		○
		○
△	△	△
Kg	Kg	Kg

～メモ～

大腸がん術後連携パス(2年7ヶ月～3年)

			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			2年7ヶ月	2年8ヶ月	2年9ヶ月
			適宜受診		
(術後)					
診察	問診	食欲	○	○	○
		腹部症状			
		排便			
	体重				
	視触診	腹部理学所見			
一般的内科的診察					
直腸指診(直腸癌)					
採血	血算・生化学		△	△	○
	CEA・CA19-9				△
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査				
	腹部超音波あるいはCT検査				
	大腸内視鏡検査				
投薬	一般薬		△	△	△
自己 検診	腹部の チェック	体重	Kg	Kg	Kg
		腹部の症状はないか			
		便通の異常はないか			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

○：必須項目 △：必要時に行います

かかりつけ医	かかりつけ医	大阪医大
2年10ヶ月	2年11ヶ月	3年
適宜受診		月 日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		○ (CTが望ましい)
		○ (CTが望ましい)
		○
△	△	△
Kg	Kg	Kg

～メモ～

□3年目の大阪医大受診前には、
かかりつけ医で検査を済ませ、
診療情報提供書をもって来て
下さい

大腸がん術後連携パス(3年1～3年6ヶ月)

			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			3年1ヶ月	3年2ヶ月	3年3ヶ月
			適宜受診		
(術後)					
診察	問診	食欲	○	○	○
		腹部症状			
		排便			
	体重				
	視触診	腹部理学所見			
一般的内科的診察					
直腸指診(直腸癌)					
採血	血算・生化学		△	△	○
	CEA・CA19-9				△
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査				
	腹部超音波あるいはCT検査				
	大腸内視鏡検査				
投薬	一般薬		△	△	△
自己 検診	腹部の チェック	体重	Kg	Kg	Kg
		腹部の症状はないか			
		便通の異常はないか			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

○：必須項目 △：必要時に行います
□：ステージⅢ大腸癌の際には実施

かかりつけ医	かかりつけ医	大阪医大
3年4ヶ月	3年5ヶ月	3年6ヶ月
適宜受診		月 日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		□
		□
△	△	△
Kg	Kg	Kg

～メモ～

大腸がん術後連携パス(3年7ヶ月～4年)

			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			3年7ヶ月	3年8ヶ月	3年9ヶ月
			適宜受診		
(術後)					
診察	問診	食欲	○	○	○
		腹部症状			
		排便			
	体重				
	視触診	腹部理学所見			
一般的内科的診察					
直腸指診(直腸癌)					
採血	血算・生化学		△	△	○
	CEA・CA19-9				△
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査				
	腹部超音波あるいはCT検査				
	大腸内視鏡検査				
投薬	一般薬		△	△	△
自己 検診	腹部の チェック	体重	Kg	Kg	Kg
		腹部の症状はないか			
		便通の異常はないか			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

○：必須項目 △：必要時に行います

かかりつけ医	かかりつけ医	大阪医大
3年10ヶ月	3年11ヶ月	4年
適宜受診		月 日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		○
		○
		○
△	△	△
Kg	Kg	Kg

～メモ～

□4年目の大阪医大受診前には、
かかりつけ医で検査を済ませ、
診療情報提供書をもって来て
下さい

大腸がん術後連携パス(4年1～4年6ヶ月)

			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			4年1ヶ月	4年2ヶ月	4年3ヶ月
			適宜受診		
(術後)					
診察	問診	食欲	○	○	○
		腹部症状			
		排便			
	体重				
	視触診	腹部理学所見			
一般的内科的診察					
直腸指診(直腸癌)					
採血	血算・生化学		△	△	△
	CEA・CA19-9				
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査				
	腹部超音波あるいはCT検査				
	大腸内視鏡検査				
投薬	一般薬		△	△	△
自己 検診	腹部の チェック	体重	Kg	Kg	Kg
		腹部の症状はないか			
		便通の異常はないか			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

○：必須項目 △：必要時に行います
□：ステージⅢ大腸癌の際には実施

かかりつけ医	かかりつけ医	大阪医大
4年4ヶ月	4年5ヶ月	4年6ヶ月
適宜受診		月 日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		□
		□
△	△	△
Kg	Kg	Kg

～メモ～

大腸がん術後連携パス(4年7ヶ月～5年)

			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			4年7ヶ月	4年8ヶ月	4年9ヶ月
			適宜受診		
(術後)					
診察	問診	食欲	○	○	○
		腹部症状			
		排便			
	体重				
	視触診	腹部理学所見			
一般的内科的診察					
直腸指診(直腸癌)					
採血	血算・生化学		△	△	△
	CEA・CA19-9				
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査				
	腹部超音波あるいはCT検査				
	大腸内視鏡検査				
投薬	一般薬		△	△	△
自己 検診	腹部の チェック	体重	Kg	Kg	Kg
		腹部の症状はないか			
		便通の異常はないか			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

○：必須項目 △：必要時に行います

かかりつけ医	かかりつけ医	大阪医大
4年10ヶ月	4年11ヶ月	5年
適宜受診		月 日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		○
		○
		△
△	△	△
Kg	Kg	Kg

～メモ～

□5年目の大阪医大受診前には、
かかりつけ医で検査を済ませ、
診療情報提供書をもって来て
下さい

- ★定期受診は5年目までです。
今後はかかりつけ医と相談の上、
大腸がん検診を定期的に受けて
下さい。
- ★定期受診日以外でも必要が
あれば受診をして下さい。

大阪医科大学附属病院の部署のご案内



再診予約変更

消化器外科外来に電話してください。
午後3～4時の間に予約の取り消しや変更を承ります。
なお、検査によっては予約の変更はできませんので、
その場合は、直接来院のうえ、ご変更ください。

電話番号：072-683-1221（代）（内線2341）

がん相談支援室

患者さんが病院に対する安心感と信頼感を持って療養に専念していただけるようにがん相談支援室にてがんに関する相談をお受けしております。

当院に入院・通院されている患者さん・家族の方が安心して温かな医療・看護が受けられるよう、医師または看護師など院内のスタッフとの連携はもとより、地域の医療・保健・福祉などの各機関と協働・連携をとりながら、より満足度の高い療養生活と充実した日々を送っていただけるように支援を行っています。

相談時間

月曜日～金曜日 9:00～16:00

第1・3・5土曜日 9:00～12:00

（但し当院の休診日はお受けしておりません。）

予約方法

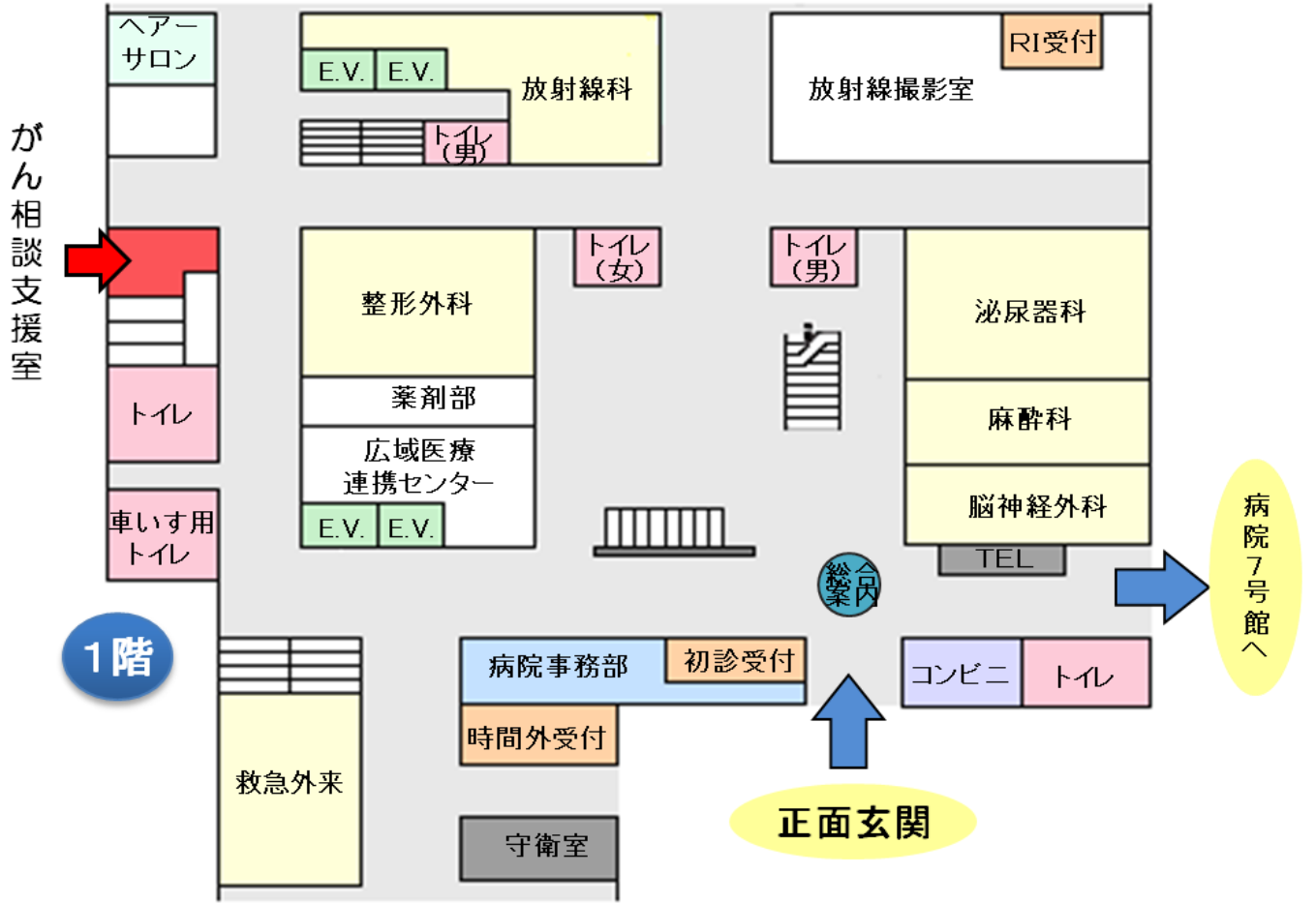
電話またはFAXにてお申し込みください。

電話：072-683-1221（代表） 内線2095

FAX：072-684-6221

※予約優先としますが、予約がない場合でも時間に空きがあればお受けしております。





名前 _____

ID番号 _____



大阪医科大学附属病院

(消化器外科)

TEL 072-683-1221 (代) (内線2341)

24年 5月作成
25年 9月改定